

# 選択教科家庭科学学習指導案

指導 熊倉 いづみ

1 日 時 平成16年9月8日(水)第5校時 調理室

2 コース 2年選択家庭 男子8名 女子13名 計21名

3 題 材 郷土料理を調べてみよう

4 題材とその目標について

日本の伝統的な食事は、長寿食として世界的に注目されてきた。この日本の食文化の中で特に行事食・郷土料理はそれぞれにいわれがあり、一つの食の歴史、文化を形成している。

「飽食」「健康ブーム」などと言われて久しい今、この食文化を後世に伝えることは大切であるとする。そこで選択家庭科では1学年で学習した、A生活の自立と衣食住(2)で学習したことを基礎として、普段の授業ではできない内容を深化させる学習として郷土料理を取り上げることにした。

5 生徒について

1年時に行事食について調べ、正月のおせち料理作りを手伝った生徒もあり、調理への関心は高い。しかしこの講座を選んだ理由は「試食が楽しみ」という生徒もあり、作ることが楽しいと感じている生徒は多くはない。また郷土料理を作るには時間がかかる、食材が手に入りにくいと考えている生徒が多いので、身近な食材を使って手軽にできるものが多いことに気づかせたい。

6 題材の指導構想

地域の食材を利用した郷土料理学習である。生徒が主体的に学習できるよう内容を工夫すると共に地域の食材を活用することの意義、「地産地消」について気づかせ、学んだ知識と技術を活用しようとする態度を育てたい。

7 目標

- ・郷土料理のよさに気づくことができる。
- ・地域の食材を利用して郷土料理をつくることができる。

8 評価規準

[生活や技術への意欲・関心・態度]

- ・学んだ技術と知識を生かして、意欲的に学習課題を追求することができる。

[生活を工夫し創造する能力]

- ・地域の食材を利用し、調理に課題をもって取り組むことができる。

[生活の技能]

- ・食品の調理上の性質を生かしながら作業し、手順に留意して実習することができる。

[生活や技術についての知識・理解]

- ・郷土料理の種類や、調理についての知識を身につけることができる。

9 主題の指導計画

別紙 [コース別指導計画] 参照 本時16時間目。

10 本時の指導

(1)本時の到達目標

ア食品の調理上の性質を生かし手実習することができる。

イ安全・衛生に心掛けて実習することができる。

(2) 本時の指導

事前の計画・準備を十分におこなって能率的に実習を進める。また生徒が生き生きと活動できるように授業を進めたい。また、班により作業の能力に片寄りがあるので、机間指導により個別指導が必要な生徒には支援の仕方に配慮し、全員が成就感を味わえるようにしたいと考える。

(3) 本時の評価の観点

ア食品の調理上の性質を生かして実習することができたか。

イ安全・衛生に心掛けて実習することができたか。

11 本時の展開

段階	教師のはたらきかけ / 教材・教具	過程	生徒の学習活動	指導 / 支援上の留意点 ( ) 評価 ( )
導入 3分	1 前時の学習内容を確認 2 本時の学習課題を設定	課題把握	1 前時の学習内容を確認する 2 課題把握をする。	手洗い、身支度はよいか。 用具・材料の準備はよいか。
おいしいずんだもちを作ろう。				
展開 42分	3調理のポイント確認 4調理開始	課題追究 課題解決	3調理のポイントを発表する 4計画に沿って調理する。  盛り付ける。 試食をする。 後片付けをする。	調理のポイント ・枝豆のゆで方。 ・枝豆の薄皮の処理。 ・すりつぶし方。 ・白玉粉と水の割合。 ・こね方、丸め方、ゆで方。 ・ゆでた後の処理。 目標時間を明示をする。 調理台の整頓をさせ安全に実習させる。 下処理の仕方はよいか確認する。 机間指導 個別指導をする。  盛り付け方はよいか。  あいさつ、試食のマナーはよいか。 協力し合っているか。 安全・衛生に配慮させる。
終末 5分	5授業のまとめ 6自己評価 7次時の予告	まとめ	5本時の学習を振り返りまとめをする。 6自己評価をする。 7予告から課題をつかむ。	授業を振り返る。  自己評価 机間指導、個別指導をする。

## 評価について

ア「目標をもって学習に取り組み、意欲的に学習したか」

- (ア) 目標をもって調査・研究に取り組んだ。
- (イ) 計画に沿って意欲的に学習した。
- (ウ) 学習方法を工夫していた。

イ「課題を追求し、知識を身につけたり、思考を深めたりすることができたか。

- (ア) 自分の課題を明確にとらえ学習している。
- (イ) 知識・技能を生かし実習・学習している。
- (ウ) 学習したことを記録している。

- A 2項目以上を達成できた。
- B 1項目を達成できた。
- C 1つも達成できなかった。

評価規準表 家庭科（2年選択）

時数	到達目標	生活や技術への意欲・関心・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
1	ガイダンス				
2	学習課題の設定、学習計画を立案することができる。	A 学習課題を進んで見つけようとし、意欲的に学習計画を立てることができる。 B 学習課題を見つげようとしている。			
3	設定した課題に主体的に取り組み地域	A 学習方法を考え、意欲的に課題	A インターネットで調べたり地域		
4	4の食材をまとめたりして課題解決を図ろうとしている。	追求することができる。 B 学習方法を考え、課題追求しようとしている。	の人に聞き取りをしたりして計画的に学習を進めている。 B インターネットや資料で調べて学習をしている。		
5	郷土料理の実習計画を立てることができる。			A 地域の食材を生かし適切な実習計画を立てることができる。 B 地域の食材を生かした実習計画を立てることができる。	A 岩手の郷土料理の種類や調理についての知識を十分身につけている。 B 岩手の郷土料理の種類や調理について一通りの知識を身に付けている。
6	安全・衛生に留意し調理実習をすることができる。	A 安全・衛生に関心をもち学んだ技術と知識を生かして実習している。 B 安全・衛生に心掛けて実習をしている。		A 食品の調理上の性質を生かしながら、用具の扱い、安全な作業に留意して実習ができる。 B 食品の調理上の性質を生かしながら安全な作業ができる。	
7	郷土料理の実習計画を立てることができる。		A 地域の食材を生かし適切な実習計画を立てることができる。 B 地域の食材を生かした実習計画を立てることができる。		A 秋田の郷土料理の種類や調理についての知識を十分身につけている。 B 一通りの知識を身に付けている
8	食品の調理上の性質を生かして調理実習をすることができる。		A 地域の食材を生かしたり調理に課題をもって実習をしている。 B 地域の食材を生かした調理実習ができる。	A 食品の調理上の性質を生かしながら、用具の扱い、安全な作業に留意して実習ができる。 B 食品の調理上の性質を生かしながら安全な作業ができる。	
10	設定した課題に主体的に取り組み地域		A インターネットで調べたり、資料を活用してまとめをし工夫しながら計画的に学習を進めている。 B インターネットや資料で調べたり計画的に学習を進めている。		
11	11の食材をまとめたりして課題解決を図ろうとしている。				
12	郷土料理の実習計画を立てることができる。			A 地域の食材を生かし適切な実習計画を立てることができる。 B 地域の食材を生かした実習計画を立てることができる。	A 郷土料理の種類や調理についての知識を十分身につけている。 B 一通りの知識を身につけてい
13	地域の食品を活用して調理実習をすることができる。	A 地域の食材を生かしたり調理に課題をもって実習している。 B 地域の食材を生かした調理実習ができる。		A 食品の調理上の性質を生かしながら作業、手順に留意して実習ができる。 B 食品の調理上の性質を生かしながら作業ができる。	
14	自分のテーマに沿って課題追求をすることができる。	A 学習方法を考え意欲的に課題追求をすることができる。 B 学習方法を考え課題追求しようとしている。	A インターネットで調べたり、資料を活用してまとめをし工夫しながら計画的に学習を進めている。 B インターネットや資料で調べたり計画的に学習を進めている。		
16	地域の食品を活用して調理実習をすることができる。	A 安全、衛生に関心をもち学んだ技術と知識を生かして調理実習をしている。 B 安全、衛生に心がけて実習している。		A 食品の調理上の性質を生かしながら作業、手順に留意して実習ができる。 B 食品の調理上の性質を生かして実習ができる。	
17	課題解決のために調査・実習したことをまとめことができる。	A 取り組んできた課題について学んだ事柄を具体的にまとめている。 B 取り組んできた課題について学んだ事柄を具体的にまとめようとしている。	A 学んだ知識や技術を創意工夫してまとめている。 B 学んだ知識や技術を創意工夫しながらまとめようとしている。		